

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2015年2月24日 第75号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

北九州憲法共同センター学習会

7.1閣議決定、ガイドライン改訂、安全保障法制改正- 安倍首相は日本をどのように変えようとしているのか?

2月14日(土) 14時から、市立生涯学習総合センターで、北九州憲法共同センター学習会が開かれ、48名の市民が熱心に学習しました。

学習会の講演講師は、日弁連憲法問題副委員長を務める井上正信弁護士。井上弁護士は、一昨年の秘密保護法案反対での北九州での講演をして、好評でした。

今回の演題は「7・1閣議決定、ガイドライン改訂、安全保障法制改正-安倍首相は日本をどのように変えようとしているのか?」です。

講演の資料も30ページを超し、参加者からは「時宜に適した学習会で、非常に勉強になった。」「安部首相の危険さがよくわかった」と反応があり、意義ある学習会となりました。

抑止力で安全?

以下、講演で印象に残ったいくつかの事項を紹介します。

7月1日の集団的自衛権を容認する閣議決定の話から始まりました。この中の「切れ目のない」という言葉が何回も出てきます。井上弁護士はズバリ「切れ目のないということは、憲法を変えるという意味」と指摘します。安倍首相は、「米軍支援して、“抑止力”を強めて、国民の安全を守る」というが、「抑止力はお互いが強化するスパイラルに陥り、限界がなくなる。世界で一番抑止力が強いはずのアメリカの市民が一番おのっている」と説明しました。

安全保障はどうする?



講演する井上正信弁護士

ではどういふ安全保障がいいのか?の問いには、1982年に出されたパルメ委員会報告「共通の安全保障-核軍縮への道標」を推奨しました。これには「安全保障は軍事的優位によっては達成されない。共通の安全保障には、軍備削減及び質的制限が必要。共通の安全保障が軍事的抑止という戦略にとって代わるべき」と書かれ、このことが現在の欧州安全保障機構、やASEANの基本的思想となっているそうです。

安倍政権は、これまでの9条の解釈を変え、他国の戦争へ、日本の自衛隊を出動させようとしています。これは「集団的自衛権の発動」以外でも、米軍部隊への武力攻撃に至らない侵害が発生した場合の米軍防護に、現場指揮官の判断で行われるようになり、極めて深刻な武力紛争に我が国が

「切れ目なく」陥る危険性がでてきます。

反対運動を早く！

では、どうすれば、このような危険な安全保障法制の改正を止めることができるのか？

井上弁護士は「統一地方選挙の終了後から、安全保障法制の改正の論議が国会で行われる。秘密保護法案反対運動の教訓は、法案の危険性を国民に知らせ、反対の国民的運動を早く立ち上がらせることだ。そのためにも無数の学習会、街頭宣伝、マスコミへの働きかけが必要だ」と強調しました。

憲法9条は重要なメッセージ

そして、「憲法9条の徹底した恒久平和主義は、中国、韓国との信頼関係を維持するうえでもきわ



めて重要なメッセージである。これはこれからの北東アジアで日本が採用すべき安全保障政策の基本となるべきである」として、具体的項目で提案しました。(北東アジア非核地帯創出、非核三原則法制化、核の傘の放棄、日米安保体制から核抑止機能を排除、将来の廃止を目指す。自衛隊は海外での軍事活動はしない。厳格な専守防衛にとどめる。などが提案されました。) [文責・野瀬]

昨年11月24日、九条の会は、「安倍内閣の改憲暴走を許さない！九条の会集会&パレード」を実施しました。集会には会場の日比谷公会堂をあふれさせ場外に設けられた大型映像画面に見入る参加者を含めて2500人が参加。集会後、銀座、数寄屋橋を経て鍛冶橋にいたる約2キロのパレードには、参加者は3000人に膨れ上がりました。この集会に参加した八幡東九条の会事務局長の石井方子さんからレポートが寄せられましたので掲載させていただきました。

「9条守れ」の世論盛り上げー集会&パレード 集会2500人、パレード3000人

八幡東九条の会事務局長 石井方子

皆様から寄せていただいたカンパと八幡東九条の会の皆さんの9条への思いを懐に、1月24日、「安倍内閣の改憲暴走を許さない！九条の会集会&パレード」に参加するため23日新幹線で出発しました。

翌24日、曇り。とくに寒くもなく風もなく、色づいた紅葉をみながら朝11時日比谷へ。渡された整理券はすでに1032番、開会13時、2000人収容の会場は満席。はるかに舞台を見下ろす席が取れました。入場できなかった人も500人を越えたとのこと。

かつては自然に言えた「9条がすき」という言葉を、つい人前では飲み込んでしまう...そんな自分振り返って悩む人たちが語り合う



写真は集会参加の石井方子さん

朗読劇から始まり、9条の会の呼びかけ人奥平康弘さん、澤地久枝さんのあいさつ。各地各分野からの取り組み報告。「東京近郊以外か



前列右端小森事務局長、3人目は石井方子さん
その左は澤地久枝さん

ら参加した方立ってください」と言われ立ち上がると会場から大きな拍手。先に退場してくださいといわれ拍手と暖かく投げかけられる笑顔をくぐって会場を出ました。続々とパレードに集まる人々。この壮観を写真にとパレードの先頭へと急ぎました。色とりどりの旗、旗、白装束の日蓮宗の大集団のうちわ太

鼓の大きな音、ざわめく人波を見ながら行進を待つ先頭にたどり着き、撮影係りの妹は警官をかいくぐって撮影。その時「こっちにいらっしやい」と声がかかり振り向くと先頭の横断幕の中心で澤地久恵さんが私に向かって呼びかけていました。人をかき分け割り込んで夢中で澤地さんの横に立ち撮影。「北九州からきました。この写真は大切ないいお土産になります。みんなもきっと喜ぶます。」少しお話しすることができて、涙が出そうに嬉しかったです。パレードには体力の関係で少ししか歩けなかったのが今でもとても残念です。参加者を見渡すと北九州と同じように 白髪交じりの60代を超えるとされる人々が大半で、首都圏も課題は同じだと痛感少し落胆しました。目をつぶると日本各地から集会を目指して集まった人々の明るい笑顔、うちわ太鼓の音も聞こえるようです。戦争する国づくりを許さない！！励ましあって皆さんとともにともに声を上げていこうと心に誓いました。

戦後70年 八幡東九条の会9周年企画窪島誠一郎氏講演会 「無言館のこと」～戦没画学生の絵の伝えるもの～

八幡東九条の会では戦後70年、会発足9周年を記念して講演会をいたします。

安倍首相の施政方針演説はこの政権のもとでこれからの日本が進むであろう進路を見通すときゾットするような恐怖と怒りを感じます。

「決してそういう進路を進ませるはいけない」の思いを一層強くしています。

【戦争は国民に何をもたらすのか】—戦争体験を語る世代も年々少なくなっています。

先の大戦中、将来画家を夢見ながら絵筆を置いて戦場に送られ二度と帰ってこなかった画学生や若き画家たちがいました。

窪島誠一郎氏は全国を回ってそういう戦没画学生の絵を収集し「戦没画学生慰霊美術館・無言館」を思い立ち建設されました。窪島氏が絵画収集の過程でご遺族からお聞きになった

お話や、収集した絵が無言で語りかけてくるメッセージの中に、今私たちは平和のために何を聞き取るべきなのか参加者の皆様とご一緒に考えたいと思います。

なお、会場の八幡市民会館が立つ地



写真—無言館・長野県上田市

は1945年8月8日の八幡大空襲で焼け野原となり、多くの人が亡くなられた場所で、八幡市民会館は、戦災復興都市計画の中核となった建築物であり、企画の意図を体現するものと考えています。

沢山の方、とりわけ若い世代のご参加を願って学生は無料とします。(大学生は学生証提示)子どもさんやお孫さんとご一緒にぜひ会場においでください。

1941年、東京生まれ。印刷工・酒場経営などを経て、64年、東京世田谷に小劇場の草分け「キッド・アイラック・アート・ホール」を設立。また79年、長野県上田市に夭折画家のデッサンを展示する私設美術館「信濃デッサン館」、97年に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立した。執筆活動では実父水上勉との再会を綴った『父への手紙』(筑摩

書房)がNHKテレビドラマ化。ほかに『信濃デッサン館日記・I・II・III・IV』(平凡社)、『漂泊・日系画家野田英夫の生涯』(新潮社)、『石榴と銃』『鬼火の里』(集英社)、『無言館ものがたり』『無言館の青春』(講談社)、絵本『約束』『いのち』(アリス館)、近刊に『父 水上勉』『母ふたり』(白水社)など、多数の著書がある。第四十六回産経児童出版文化賞、第十四回地方出版文化功労賞、第七回信毎賞、第十三回NHK地域放送文化賞を受賞。2005(平成17)年、「無言館」の活動で第五十三回菊池寛賞受賞。

日 時 5月24日(日) 14時～16時

(会の報告14:00～14:30・講演14:30～)

会 場 八幡市民会館・大ホール

資料代500円・大学生(学生証提示)無料・高校生以下無料

カンパありがとうございます。そして、お願い!

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「9条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 12月 佐多道人 藤本久子 小川由美 原田紀子 安達恵美子 高野和夫 井上文子 小沢和秋 大重幸彦 野田恵美
1月 八記久美子 江藤智之 桑田勲二 木村玲子 毛利義広 古賀三千人 弁護士里本麻衣 堤瑤子 川原巍誠 来田時子 小泉孝 松山登美子 三崎英二 **2月** 山田弘 有馬和子 瀬下幸弘 **メッセージ** ●遅くなってすみません。11/21 M. K ●カンパとして 11/22 M. E ●晋三はもうこりごりです。11/27 O. J ●頑張ってください。私もうたごえを通して頑張っています。12/29 T. K ●憲法 9 条を変え戦争できる国にしようとしています。来年は大反対の運動の年ですね。12/29 I. H ●会費のつもりでいつものカンパです。12/29 O. K ●些少ですが募金します。いつもできずに恐縮しています。12/29 O. Y ●カンパ 12/30 M. R ●いつも会報ありがとうございます。自公で2/3の議席、安倍内閣の暴走が加速しない様に、みんなで「憲法守れ!」の声を大きくしましょう。1/6 K. R ●お世話していただき皆さんに心からお礼申し上げます。高齢のため、諸会合に出席せず申し訳ありません。金銭の収支報告、誠実さを受け取りました。1/8 K. M ●事務局の皆さん、2015 年もよろしく願います。1/13 K. T ●カンパ 1/19 M. T ●活動カンパとして 1/29 M. E

10周年記念行事カンパありがとうございました。 引き続き、ご支援をお願いします。

12月 藤本久子 小倉東総合法律事務所 弁護士荒牧啓一 安達恵美子 高野和夫 上西創造 小沢和秋 野田恵美 森田禮三 塩塚茂義 **1月** 中村洋一郎 八記久美子 野瀬秀洋 桑田勲二 小司洋子 毛利義広 増野ノリ子 川原巍誠 佐村保紀 小泉康子 三崎英二 **2月** 弁護士小鉢由美